

すまいる 
～立田幼稚園の日々の様子から～

熊本の水について学びました 『のびのび水のお話し会』

令和5年12月15日（金）に、熊本市上下水道サービス公社から2名の方に来ていただいて、年長2クラスに『のびのび水のお話し会』を開いていただきました。その様子をお伝えします。



楽しいクイズで始まったお話し会。

本題に入り「熊本市の水道の水は、川の水？それとも、海、池、地下水？」と尋ねられると「地下水」と答えた子ども達。どこかで聞いたことがある子も多いようでした。

でも、「地下水はどこから来る？」と聞かれると、「工場！」という答えも多く出ました。ペットボトルのイメージでしょうか？阿蘇山に振った雨が、20年かけて熊本市に流れてくること、その速さはカタツムリの進むスピードくらいだということを教えていただきました。

毎日どんな場面で水を使うかを考え、一人が一日でどのくらいの水を使っているかを考えてみました。「500mlペットボトル何本分？」の質問に、子ども達からは最多で「100本」の答えがでましたが、正解は452本分。とても驚いていました。

「水を使わないで暮らすことはできないので、大切に使うようにしましょう。」との言葉に「出っぱなしの水はとめる！」と言った子や「おとうさん歯磨きの時とめてない！」とぼらしてしまった子もいました（笑）

熊本地震の時には断水になって水道から水がでなくなったことや、世界には大変な思いをして水を汲みにいく国があることも教えていただき、水道から水が出ることはありがたいことだと感じたようです。





「効き水」にも挑戦、3つの水を飲み比べました。

その中の一つは熊本の水。多くの子どもが熊本の水を当てていました。「熊本のが一番おいしい!」と実感したようです。

味の違いのヒミツがミネラルだということも知りました。



「地下水」「節水」のキーワード、そしてキャラクターの名前が「ウォッタくん」だということを、しっかり覚えたようです。

最後の場面には、偶然にも立田幼稚園の写真(8年前)がありました。「たつたようちえんだ!」嬉しそうな子ども達でした。



おいしい熊本の水が未来にも続いていきますように。。。
ご家庭でも水を大切にすることを、お話ししてくださいね。

～たくさん教えていただき、
ありがとうございました♪～